



## 2023年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月12日

上場会社名 パルステック工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6894 URL <https://www.pulstec.co.jp>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)鈴木 幸博  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)工藤 孝史 (TEL)053-522-5176  
 定時株主総会開催予定日 2023年6月23日 配当支払開始予定日 2023年6月26日  
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月26日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期の連結業績 (2022年4月1日～2023年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	2,448	0.1	301	△3.2	332	△5.3	242	△28.6
2022年3月期	2,445	17.0	311	95.0	351	82.9	340	117.4
(注) 包括利益	2023年3月期 260百万円 (△23.5%)		2022年3月期 340百万円 (112.2%)					

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	177.53	—	7.3	7.3	12.3
2022年3月期	248.75	—	10.9	8.1	12.7
(参考) 持分法投資損益	2023年3月期 — 百万円		2022年3月期 — 百万円		

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	4,519	3,417	75.6	2,497.84
2022年3月期	4,647	3,273	70.4	2,392.34
(参考) 自己資本	2023年3月期 3,417百万円		2022年3月期 3,273百万円	

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	△105	23	△226	1,911
2022年3月期	658	△66	△71	2,212

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	0.00	—	85.00	85.00	116	34.2	3.7
2023年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00	95	39.4	2.9
2024年3月期(予想)	—	0.00	—	55.00	55.00		31.6	

### 3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,000	△15.2	100	6.9	108	△9.7	75	△8.3	55.13
通期	2,450	0.1	300	△0.6	313	△5.8	237	△2.1	173.80

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無  
② ①以外の会計方針の変更： 無  
③ 会計上の見積りの変更： 無  
④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期	1,393,459株	2022年3月期	1,393,459株
② 期末自己株式数	2023年3月期	25,130株	2022年3月期	25,081株
③ 期中平均株式数	2023年3月期	1,368,350株	2022年3月期	1,368,498株

(参考) 個別業績の概要

2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	2,422	0.3	297	△1.8	328	△4.0	240	△27.2
2022年3月期	2,415	16.2	302	87.7	342	80.1	330	114.6

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	175.86	—
2022年3月期	241.58	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
2023年3月期	4,488	75.8	3,400	75.8	3,400	75.8	2,484.83	
2022年3月期	4,635	70.4	3,263	70.4	3,263	70.4	2,385.25	

(参考) 自己資本 2023年3月期 3,400百万円 2022年3月期 3,263百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信[添付資料]3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

※ 2023年3月期第1四半期決算短信より、日付の表示を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13
4. その他 .....	14
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	14
(2) 役員の変動 .....	14

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対する行動制限が緩和され、個人消費の増加や外国人観光客の受入れ再開など、活気を取り戻しつつありましたが、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化に伴う資源価格の高騰や米欧の金融政策、急激な為替変動などの影響により物価上昇に歯止めがかからず、先行き不透明な環境下で推移いたしました。

当業界におきましては、設備投資関連は引き続き増加傾向で推移いたしました。電子部品や半導体の調達難による納期遅延や生産調整の影響も長期化しており、依然として厳しい受注環境で推移いたしました。

このような状況のなかで当社グループは、既存顧客への深耕営業に努めるとともに、ウェビナー（WEBセミナー）の継続開催、ホームページの拡充、SNSによる動画配信、再開された展示会や学会等への出展、当社製品を実際に使用していただく体験イベントの開催など、新規顧客の獲得に注力いたしました。

生産におきましては、電子部品や半導体の調達難に伴い、一部の製品では生産性の悪化や納期遅延が発生するなど、引き続き厳しい状況下で推移いたしました。

以上の結果、売上高は24億48百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は3億1百万円（前年同期比3.2%減）、経常利益は3億32百万円（前年同期比5.3%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は、法人税等調整額の増加に伴う税負担の増加により、2億42百万円（前年同期比28.6%減）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

#### （X線残留応力測定装置関連）

積極的な顧客訪問を再開するとともに、関連する展示会や学会等にも積極的に出展し顧客との対面営業に努める一方、ウェビナー（WEBセミナー）やSNSを活用した営業活動にも注力いたしました。また、当第2四半期において新製品のX線単結晶方位測定装置「s-Laue」を投入するなど新規顧客の獲得に努めましたが、当期の予算確保が困難な案件や発注時期の先送り案件などの影響により、売上高は6億53百万円（前年同期比8.7%減）、セグメント利益は2億10百万円（前年同期比25.8%減）となりました。

#### （ヘルスケア装置関連）

部材価格の上昇に加え、電子部品や半導体の入荷遅れによる生産調整により苦戦を強いられましたが、新たな受託開発案件の引合い増加に加え、リピート製品の受注も堅調に推移するとともに、工程改善や生産数の増加による生産性向上が寄与したことから、売上高は9億98百万円（前年同期比1.6%増）、セグメント利益は1億25百万円（前年同期比44.1%増）となりました。

#### （光応用・特殊機器装置関連）

一部の受託製品において顧客支給品の入荷遅れにより納期遅延が発生したものの、個別案件の引合いは引き続き好調を維持しており、生産調整していた3Dスキャナも生産を再開するなど、概ね堅調に推移したことから、売上高は7億96百万円（前年同期比6.7%増）、セグメント利益は2億57百万円（前年同期比4.9%増）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末と比べて1億28百万円減少し、45億19百万円となりました。これは主に、売掛金が2億96百万円、原材料及び貯蔵品が91百万円それぞれ増加し、現金及び預金が3億1百万円、受取手形が75百万円、繰延税金資産が52百万円、長期預金が50百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて2億72百万円減少し、11億1百万円となりました。これは主に、長期借入金が96百万円、未払法人税等が81百万円、契約負債が35百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて1億44百万円増加し、34億17百万円となりました。これは主に、利益剰余金が1億26百万円増加したことによるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べて3億1百万円減少し、19億11百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、1億5百万円の支出となりました。主な増加要因は、税金等調整前当期純利益の計上3億32百万円であり、主な減少要因は、売上債権の増加2億20百万円、法人税等の支払額1億22百万円、仕入債務の減少52百万円、棚卸資産の増加52百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、23百万円の獲得となりました。主な増加要因は、定期預金の払い戻しによる収入50百万円であり、主な減少要因は、有形固定資産の取得による支出26百万円であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、2億26百万円の使用となりました。主な減少要因は、配当金の支払額1億15百万円、長期借入れ金の返済による支出1億10百万円であります。

## (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルスの行動規制が緩和され、コロナ禍前の活気を取り戻しつつありますので、景気は回復基調で推移するものと期待しておりますが、エネルギー価格の高騰、食料品や生活必需品の値上げによる消費の冷え込み、半導体や電子部品の調達難による生産調整、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や地政学リスクのさらなる増大など、様々な課題が山積しており、先行きの見通しが極めて困難な経営環境で推移するものと思われま

す。このような状況のなかで当社グループは、各製品セグメントのさらなる拡大発展を目指し、新製品開発や営業力強化に一層注力するとともに、当社の特色を生かした新規事業の創出にも経営資源を投入してまいります。また、次代を担う人材の採用と育成にも積極的に取り組んでまいります。

X線残留応力測定装置関連は、品質向上や歩留まり改善に関する顧客ニーズは着実に高まっており、引合いも増加傾向で推移する見通しであります。市場の動向が極めて不透明であり、予算や導入時期の先送りも懸念されますので、受注環境も厳しさを増すものと思われま

す。ヘルスケア装置関連は、既存顧客からの引合いは引き続き好調であり、新たな開発案件の受託に加え、受託開発完了後の生産も本格化しておりますので、今後も増加傾向で推移する見通しであります。当面は、課題となっている不採算案件の解消、品質管理体制の充実強化、技術対応力の強化、生産効率の向上に注力し、利益率のさらなる向上に取り組んでまいります。

光応用・特殊機器装置関連は、顧客ニーズは依然として旺盛であり、今後の需要も増加傾向で推移する見通しであります。引き続き収益性の高いカスタム製品やリピート製品に注力するとともに、当社の光学技術に関する潜在的なニーズが高いことから、顧客仕様に合致する製品をタイムリーに提供できるよう、さらなる技術力の向上に努めてまいります。また、光ディスク関連や3Dスキャナなどの既存製品については、市場ニーズの動向に沿った生産体制として、残存者利益の確保に努めてまいります。

以上により、2024年3月期の業績は、連結売上高24億50百万円（前年同期比0.1%増）、連結営業利益3億円（前年同期比0.6%減）、連結経常利益3億13百万円（前年同期比5.8%減）、親会社株主に帰属する当期純利益2億37百万円（前年同期比2.1%減）を見込んでおります。

なお、上述の業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因によって、予想値と異なる可能性があります。業績予想の修正が必要となった場合は適切に開示いたします。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を採用しております。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,212,632	1,911,128
受取手形	217,540	142,233
売掛金	463,834	759,949
有価証券	-	66,765
仕掛品	421,870	383,139
原材料及び貯蔵品	168,750	260,477
その他	13,169	23,734
流動資産合計	3,497,798	3,547,427
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	908,609	894,095
減価償却累計額	△661,822	△656,308
建物及び構築物（純額）	246,786	237,786
機械装置及び運搬具	137,001	137,001
減価償却累計額	△95,343	△100,363
機械装置及び運搬具（純額）	41,657	36,637
工具、器具及び備品	755,981	749,139
減価償却累計額	△704,354	△703,619
工具、器具及び備品（純額）	51,627	45,520
土地	196,055	196,055
建設仮勘定	622	4,320
有形固定資産合計	536,750	520,320
無形固定資産	22,707	13,522
投資その他の資産		
投資有価証券	110,135	62,136
長期預金	50,000	-
繰延税金資産	122,055	69,890
その他	308,435	306,221
投資その他の資産合計	590,625	438,248
固定資産合計	1,150,083	972,090
資産合計	4,647,882	4,519,518

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	63,629	51,299
電子記録債務	234,202	203,949
1年内返済予定の長期借入金	37,340	23,648
未払法人税等	94,694	13,010
契約負債	51,431	16,060
賞与引当金	118,428	119,557
その他	174,604	155,893
流動負債合計	774,329	583,418
固定負債		
長期借入金	137,360	40,732
退職給付に係る負債	462,573	477,498
固定負債合計	599,933	518,230
負債合計	1,374,263	1,101,648
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,491,375	1,491,375
資本剰余金	929,795	929,795
利益剰余金	1,009,875	1,136,490
自己株式	△166,210	△166,286
株主資本合計	3,264,836	3,391,374
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,968	14,852
為替換算調整勘定	5,814	11,642
その他の包括利益累計額合計	8,782	26,495
純資産合計	3,273,619	3,417,869
負債純資産合計	4,647,882	4,519,518

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	2,445,227	2,448,750
売上原価	1,548,613	1,510,258
売上総利益	896,613	938,492
販売費及び一般管理費	584,901	636,754
営業利益	311,711	301,737
営業外収益		
受取利息	2,101	2,324
受取配当金	1,118	1,875
為替差益	17,475	7,366
貸倒引当金戻入額	5,800	-
売電収入	12,431	12,154
助成金収入	6,335	11,362
その他	2,207	3,004
営業外収益合計	47,469	38,087
営業外費用		
支払利息	483	358
売電費用	7,106	6,596
営業外費用合計	7,590	6,955
経常利益	351,591	332,869
特別利益		
固定資産売却益	1,338	-
特別利益合計	1,338	-
特別損失		
固定資産除却損	210	767
特別損失合計	210	767
税金等調整前当期純利益	352,718	332,101
法人税、住民税及び事業税	89,994	38,198
法人税等調整額	△77,682	50,976
法人税等合計	12,311	89,174
当期純利益	340,407	242,926
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-
親会社株主に帰属する当期純利益	340,407	242,926



## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益	340,407	242,926
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,944	11,884
為替換算調整勘定	6,033	5,827
その他の包括利益合計	88	17,712
包括利益	340,495	260,639
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	340,495	260,639
非支配株主に係る包括利益	-	-

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,491,375	929,795	731,054	△165,878	2,986,347
当期変動額					
剰余金の配当			△61,586		△61,586
親会社株主に帰属する当期純利益			340,407		340,407
自己株式の取得				△332	△332
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	278,820	△332	278,488
当期末残高	1,491,375	929,795	1,009,875	△166,210	3,264,836

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	8,912	△218	8,694	2,995,042
当期変動額				
剰余金の配当				△61,586
親会社株主に帰属する当期純利益				340,407
自己株式の取得				△332
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△5,944	6,033	88	88
当期変動額合計	△5,944	6,033	88	278,577
当期末残高	2,968	5,814	8,782	3,273,619

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,491,375	929,795	1,009,875	△166,210	3,264,836
当期変動額					
剰余金の配当			△116,312		△116,312
親会社株主に帰属する当期純利益			242,926		242,926
自己株式の取得				△76	△76
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	126,614	△76	126,538
当期末残高	1,491,375	929,795	1,136,490	△166,286	3,391,374

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	2,968	5,814	8,782	3,273,619
当期変動額				
剰余金の配当				△116,312
親会社株主に帰属する当期純利益				242,926
自己株式の取得				△76
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	11,884	5,827	17,712	17,712
当期変動額合計	11,884	5,827	17,712	144,250
当期末残高	14,852	11,642	26,495	3,417,869

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	352,718	332,101
減価償却費	72,361	59,074
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△5,800	-
受取利息及び受取配当金	△3,219	△4,199
支払利息	483	358
為替差損益 (△は益)	△16,918	△6,718
有形固定資産除却損	210	767
固定資産売却損益 (△は益)	△1,338	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△64,318	△220,644
棚卸資産の増減額 (△は増加)	10,107	△52,857
仕入債務の増減額 (△は減少)	88,548	△52,955
賞与引当金の増減額 (△は減少)	89,329	1,017
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	17,146	14,925
その他	126,484	△57,236
小計	665,794	13,633
利息及び配当金の受取額	3,230	4,149
利息の支払額	△682	△309
法人税等の支払額	△9,810	△122,912
営業活動によるキャッシュ・フロー	658,531	△105,439
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△54,749	△26,124
有形固定資産の売却による収入	2,922	-
投資有価証券の取得による支出	△14,670	-
定期預金の払戻による収入	-	50,000
その他	203	△15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△66,295	23,859
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△10,320	△110,320
自己株式の取得による支出	△332	△76
配当金の支払額	△61,253	△115,690
財務活動によるキャッシュ・フロー	△71,905	△226,086
現金及び現金同等物に係る換算差額	16,321	6,162
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	536,652	△301,503
現金及び現金同等物の期首残高	1,675,979	2,212,632
現金及び現金同等物の期末残高	2,212,632	1,911,128

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前記に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## 1. 報告セグメントの概要

## (1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品別に製品責任者を置き、製品責任者が包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って製品別のセグメントから構成されており、「X線残留応力測定装置関連」、「ヘルスケア装置関連」及び「光応用・特殊機器装置関連」の3つを報告セグメントとしております。

## (2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「X線残留応力測定装置関連」は、主にX線残留応力測定装置の製造及び販売をしております。

「ヘルスケア装置関連」は、主に医療機器関連の受託開発及び受託製造をしております。

「光応用・特殊機器装置関連」は、主に顧客仕様に基づく計測・制御・データ処理等を行う専用機器・装置の製造及び販売をしております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	X線残留応力測定装置関連	ヘルスケア装置関連	光応用・特殊機器装置関連	
売上高				
一時点で移転される財及びサービス	715,994	982,941	592,054	2,290,990
一定の期間にわたり移転されるサービス	—	—	154,237	154,237
顧客との契約から生じる収益	715,994	982,941	746,292	2,445,227
外部顧客への売上高	715,994	982,941	746,292	2,445,227
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	715,994	982,941	746,292	2,445,227
セグメント利益	284,217	86,972	245,946	617,135
セグメント資産	365,624	442,515	538,068	1,346,208
その他項目				
減価償却費	26,658	9,320	13,179	49,159
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	20,926	931	1,422	23,279

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	X線残留応力測定装置関連	ヘルスケア装置関連	光応用・特殊機器装置関連	
売上高				
一時点で移転される財及びサービス	653,402	988,095	622,661	2,264,160
一定の期間にわたり移転されるサービス	562	10,322	173,706	184,590
顧客との契約から生じる収益	653,964	998,418	796,368	2,448,750
外部顧客への売上高	653,964	998,418	796,368	2,448,750
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	653,964	998,418	796,368	2,448,750
セグメント利益	210,769	125,285	257,930	593,985
セグメント資産	428,377	590,182	479,852	1,498,411
その他項目				
減価償却費	16,556	7,629	11,159	35,345
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	9,368	1,281	2,013	12,662

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	617,135	593,985
全社費用(注)	△299,823	△298,357
棚卸資産の調整額	△5,601	6,108
連結財務諸表の営業利益	311,711	301,737

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,346,208	1,498,411
全社資産(注)	3,301,673	3,021,106
連結財務諸表の資産合計	4,647,882	4,519,518

(注)全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない現金及び預金、本社土地建物、投資有価証券であります。

(単位：千円)

その他項目	報告セグメント計		調整額(注)		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	49,159	35,345	17,689	18,727	66,848	54,073
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	23,279	12,662	28,382	21,744	51,662	34,407

(注)減価償却費及び有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社資産に係るものであります。

## 【関連情報】

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：千円)

日本	アジア	北米	ヨーロッパ	その他	合計
2,199,724	110,762	73,563	43,155	18,021	2,445,227

(注)売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産が90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称又は氏名	売上高(千円)	関連するセグメント名
東洋紡株式会社	601,300	ヘルスケア装置関連
株式会社日立ハイテク	310,237	光応用・特殊機器装置関連

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：千円)

日本	アジア	北米	ヨーロッパ	その他	合計
2,260,179	103,708	30,612	45,962	8,288	2,448,750

(注)売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産が90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

顧客の名称又は氏名	売上高(千円)	関連するセグメント名
東洋紡株式会社	393,363	ヘルスケア装置関連
株式会社日立ハイテク	393,160	光応用・特殊機器装置関連

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	2,392.34円	2,497.84円
1株当たり当期純利益	248.75円	177.53円

(注)1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	340,407	242,926
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	340,407	242,926
普通株式の期中平均株式数(千株)	1,368	1,368

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 4. その他

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績

当連結会計年度における生産実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
X線残留応力測定装置関連	765,466	147.5
ヘルスケア装置関連	843,614	73.8
光応用・特殊機器装置関連	770,120	112.9
合計	2,379,201	101.5

## ② 受注実績

当連結会計年度における受注実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
X線残留応力測定装置関連	803,066	115.6	214,802	326.9
ヘルスケア装置関連	1,013,876	80.9	1,361,326	101.1
光応用・特殊機器装置関連	1,009,989	149.7	449,012	190.8
合計	2,826,931	107.8	2,025,141	123.0

## ③ 販売実績

当連結会計年度における販売実績は、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
X線残留応力測定装置関連	653,964	91.3
ヘルスケア装置関連	998,418	101.6
光応用・特殊機器装置関連	796,368	106.7
合計	2,448,750	100.1

(注) 主な相手先別販売実績及び総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)		当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
東洋紡株式会社	601,300	24.6	393,363	16.1
株式会社日立ハイテク	310,237	12.7	393,160	16.1

## (2) 役員の異動

その他の役員の異動(2023年6月23日付予定)

新任取締役候補

取締役 西島 直樹(現 第2技術部長)